

## 新潟県花き振興協議会 (新潟県)

協議会構成団体：新潟県花き球根振興協議会、新潟県花木振興協議会、全国農業協同組合連合会新潟県本部、(株)新花、新潟県園芸商協会、新潟県グリーンサービス協会、(一社)JFTD新潟支部、新潟農業・バイオ専門学校、新潟県、他

### 戦略品目

球根類：チューリップ  
切り花：チューリップ  
ユリ



### < 取組内容 >

#### 1 生産供給体制の強化

- チューリップ球根生産について、手作業の球根調整作業に使用する調整作業台を開発し、作業の効率化及び作業負荷の低減を図る。

- 市販の資材で自作できるチューリップ球根調整用の作業台を開発した。  
この作業台を使用することで、調整作業時間は15%程度短縮され、作業者の体への負荷は作業姿勢の改善により低減された。



慣行調整作業



作業台調整作業

#### 2 流通の効率化・高度化

- OTユリ切り花について、品質保持剤の実証により、切り花品質向上や日持ち性向上による需要拡大を図る。

- 品質保持剤の前処理により、上位花蕾の開花率向上と葉の黄化抑制効果が確認できた。
- 小花や切り花の日持ち期間を延長する効果が確認できた。  
(開花率の向上 花蕾4輪の切り花3.6輪開花→4輪開花)  
(葉の黄化抑制 黄化率100% (8本/8本) →0% (0本/8本))



前処理なし

黄化抑制



前処理あり

#### 3 需要の拡大

- 県産花きを使用した展示・装飾や品種の紹介、フラワーアレンジメントのデモンストレーション、家庭等でのアレンジメント体験キャンペーン等を通じて県産花きの魅力を広くPRし、花きの需要拡大を図る。

- 主要公共施設や日本の伝統家屋 (来場者678名) での県産花きの展示、フラワーアレンジメントのデモンストレーションのLive配信等を実施した。また、家庭向けに県産花きアレンジメント体験セットの贈呈 (応募総数4,910名) 等を通じて県産花きや花文化を広く伝え、花のある暮らしの魅力をPRした。



駅構内での県産ユリ展示

### < 今後の取組予定 >

- 実証した品質保持・開花技術の普及・改善を進め、県産花きの品質向上・安定供給につなげる。
- 各種イベント開催を通じてより親しみやすい花き展示を行い、花のある暮らしの提案、若年層や新規購入層等、花きの購入層の裾野の拡大を図る。

## 石川県花き振興地域協議会 (石川県)

協議会構成団体： 石川県花き園芸協会、金沢総合花き株式会社、株式会社花市場、石川県花商事協同組合、金沢公設花き小売組合、石川県生花小売商協同組合、北陸園芸商組合、(一社) JFTD石川支部、(公社) NFD石川県支部、全国農業協同組合連合会石川県支部、金沢市公設花き地方卸売市場、石川県農林水産部

戦略品目  
切り花：



エアリーフローラ (フリージア)



切り花葉ボタン

### < 取組内容 >

### < 取組の成果 >

#### 1 生産供給体制の強化

- ・エアリーフローラの球根生産について、球根ネット栽培方式を導入した球根収穫作業の省力化を図る。

- ・これまで、球根の掘取りは全て手作業で行っていたが、球根を挟み込んだネットを、機械で引っ張って掘り起こすことが出来るようになり、大幅な省力化となった。

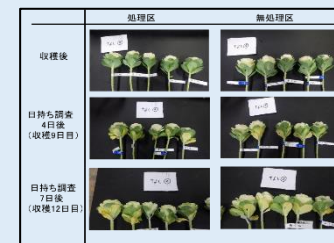


ネットに挟んだ球根を機械収穫する様子

#### 2 流通の効率化・高度化

- ・極小輪切り花葉ボタンにおいて、切り前での鮮度保持資材の利用による日持ちと葉色への影響を調査

- ・鮮度保持剤の使用は、極小輪葉ボタンにおいて下位葉の葉色を保ち、日持ちを延長させることが分かった。  
なお、日持ちに与える効果は20℃条件では4日程度(収穫9日後)と考えられた
- ・実証結果をマニュアル化し、100部作成。県内の葉ボタン生産者に配布した。



日持ちの調査結果

#### 3 需要の拡大

- ・コロナ禍での花きの需要拡大を目的とし、トップフローリストを講師にしたオンラインでのエアリーフローラアレンジメント教室を開催

- ・オンラインで開催したことにより、全国各地からアレンジメント教室への参加があり、エアリーフローラのPRに繋がった
- ・開催後はエアリーフローラの公式インスタグラムへの投稿も多く、フォロワー数の増加にも繋がった



オンラインアレンジメント教室の様子

### < 今後の取組予定 >

- ・エアリーフローラの需要期 (2月下旬～3月上旬) への収穫期移動
- ・エアリーフローラの開花日数の延長実証
- ・花育体験、PRイベントの開催によるエアリーフローラの知名度向上

## 福井県花き連絡協議会 (福井県)

協議会構成団体：県内各花き生産組織、福井中央花卉市場、花一（仲卸）、福井県花商協同組合（小売）、福井県華道協会、日本フラワーデザイナー協会福井県支部、ふくい園芸福祉研究会、日本生花通信配達協会福井県支部、フジテレビフラワーネット福井県支部、福井県農林水産部、JA福井県

戦略品目  
切り花：キク



### < 取組内容 >

#### 1 生産供給体制の強化

- ・ 昨年までに取り組んだハダニ、アザミウマ類、白さび病に加え、近年発生が増えはじめている黒斑病、褐斑病の発生軽減を視野に置いた品種選定や仕立て本数増加による収量向上技術の実証に取り組む。

- ・ 赤1品種、白1品種、黄1品種、計3品種を有望品種として選定した。
- ・ 黒斑病、褐斑病、アザミウマ類にかかる農薬の一部を削減することができ、生産コストは、4.7%減となった。
- ・ ミディマム栽培では4本仕立て以上の仕立て本数を推奨し普及していくこととなった。



選定された品種

#### 2 流通の効率化・高度化

- ・ キクにおいて切花品質保持剤や鮮度保持包装材、出荷箱等を活用した日持ち性向上技術実証を行う。

- ・ 品質保持剤と鮮度保持包装材の併用で21日間冷蔵庫での保管が可能であった。また、開封後4日間は葉の黄化を抑制できた。
- ・ 取り組んだ生産者の平均出荷本数は、4.9%上昇した。



切花品質保持剤＋  
鮮度保持包装材



水道水＋  
新聞紙

#### 3 需要の拡大

- ・ 6月6日に開催されたみどりと花の県民運動大会において、フラワーアレンジや寄せ植え体験を開催し、花の魅力や楽しみ方を伝えることで消費拡大プロモーション活動を行う。
- ・ 県内の学校や公民館等と連携しながら、フラワーアレンジや寄せ植え等の花育体験を実施する。

- ・ イベント実施後に購買意欲が喚起された参加者数を調査したところ、参加者のうち92%となり、県産花きの利用促進が啓発された。
- ・ 花育体験の取組後に参加した生徒等へのアンケートで花育体験の満足度90%となった。また、取組後の購買頻度増加数は、実施前と比べ155%となった。



フラワーアレンジメント体験

### < 今後の取組予定 >

- ・ 開花の安定やアブラムシの発生軽減に視点を置いた品種選定、栽培技術実証を行う。
- ・ 鮮度保持包装材のコスト低減や実需者レベルの品質保持剤について、調査・実証する。
- ・ 新たな需要の創出・拡大に向け、消費拡大プロモーション、花育活動を実施していく。